

# 令和7年度(2025年度) 第2回 河川工作物AP会議 羅臼川におけるモニタリング調査について



令和8年1月27日

北海道釧路総合振興局釧路建設管理部



## 2-1 既設床止工の改修経緯と河床変動計算

### 目次

#### 1. モニタリング調査

1-1 サケ・マス産卵床調査結果 . . . . . P.2

1-2 5号床止工魚道部の水面落差低減対応について . . . . . P.6

#### 2. 5号床止工について

2-1 既設床止工の改修経緯 . . . . . P.7

2-2 5号床止工の有無による6号床止工への影響 . . . . . P.11

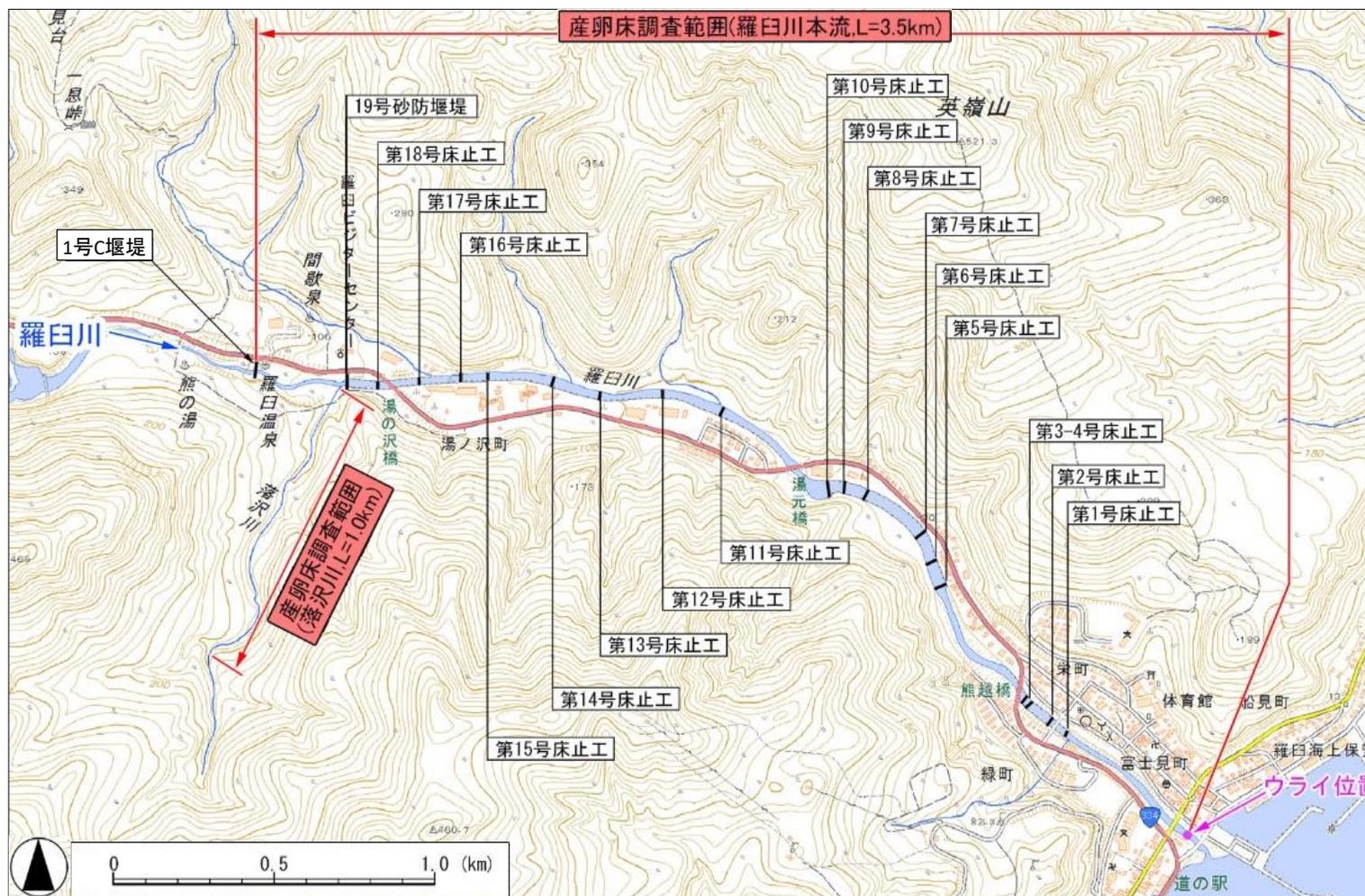
2-5 5号床止工に関する今後の対応 . . . . . P.12

3. 令和8年度の予定 . . . . . P.13

# 1. モニタリング調査

## 1-1 サケ・マス産卵床調査結果

### 1) 調査概要



- 【調査日】
- ① 9/10 ~ 11
  - ② 9/23
  - ③ 10/ 6 ~ 7
  - ④ 10/20 ~ 21
  - ⑤ 11/ 4 ~ 5
  - ⑥ 11/18

【調査範囲】 羅臼川 : 3.5km  
支流落沢川 : 1km  
(計4.5km)



図1-1 産卵床調査位置

## 1-1 サケ・マス産卵床調査結果

### 2) 産卵床の分布状況

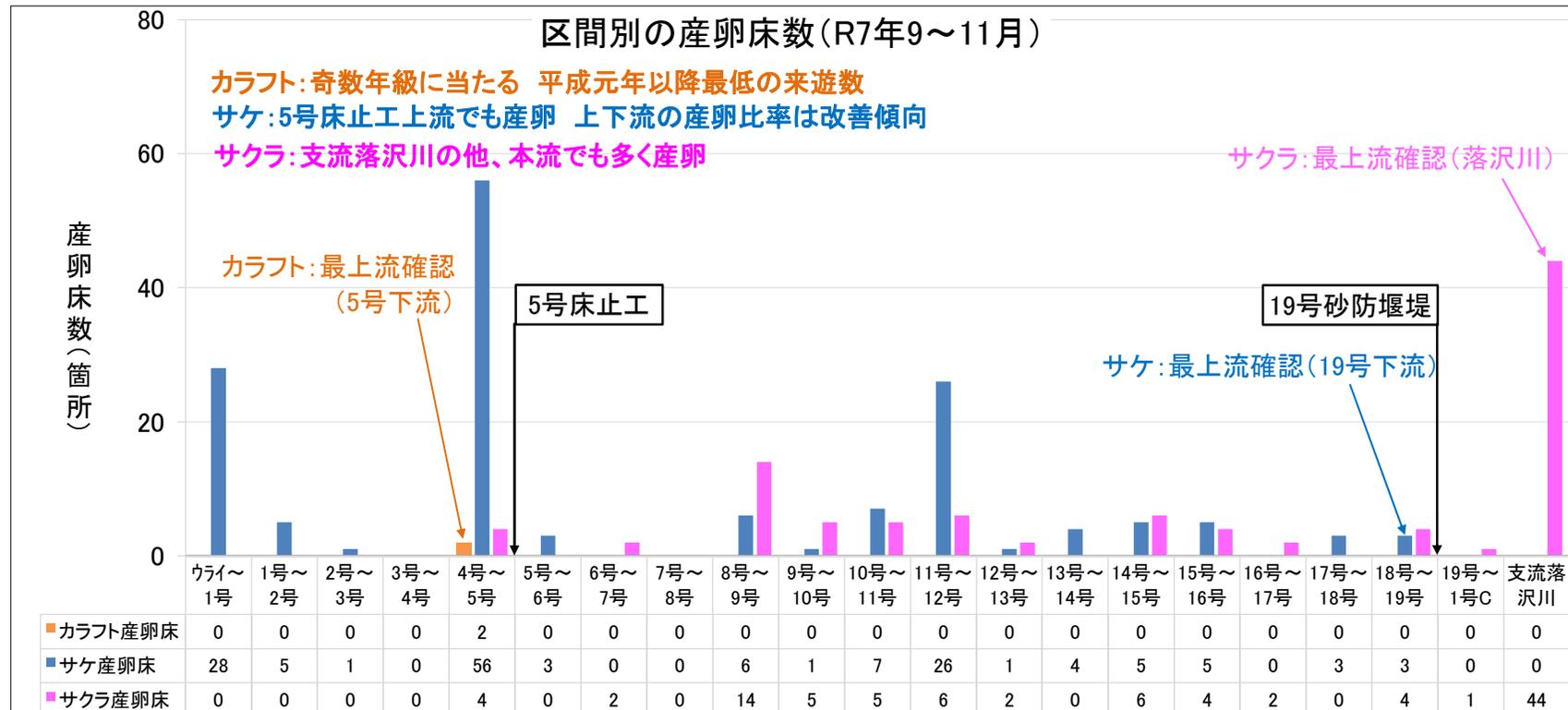
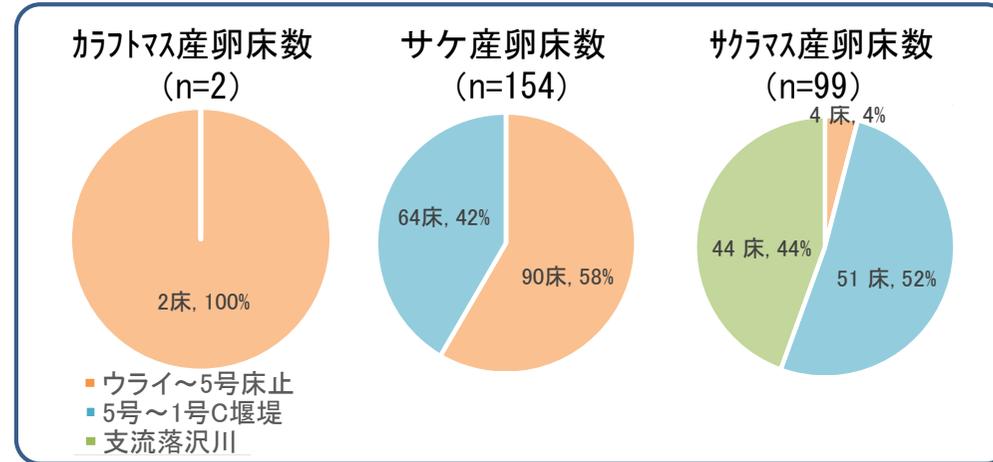
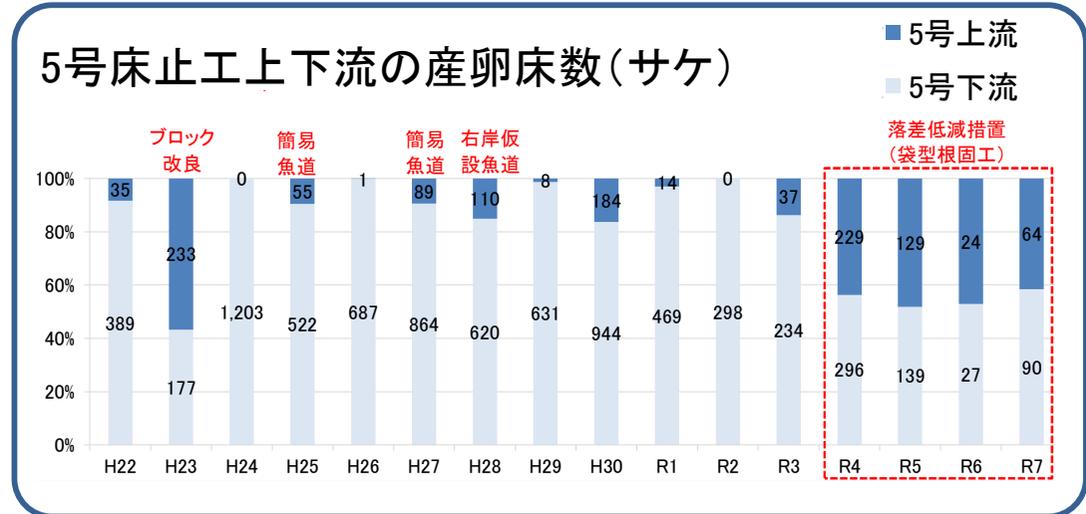
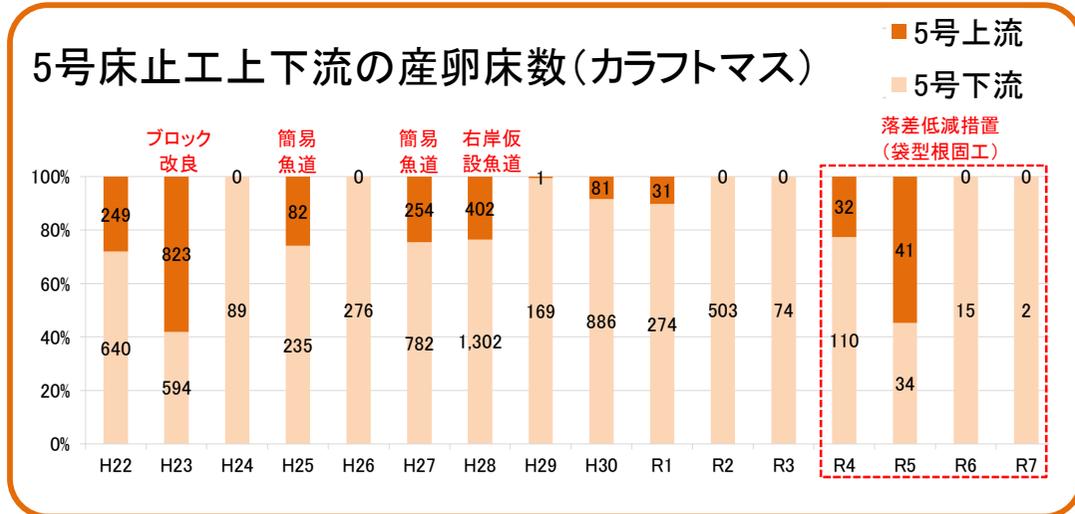
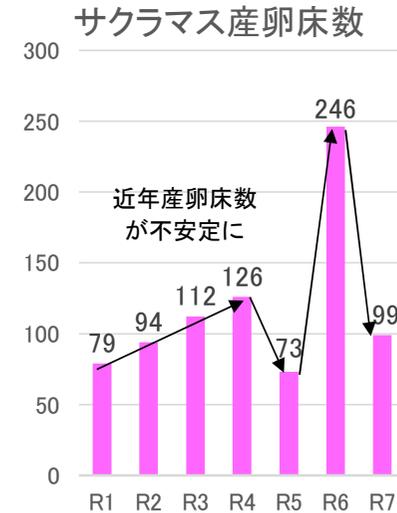
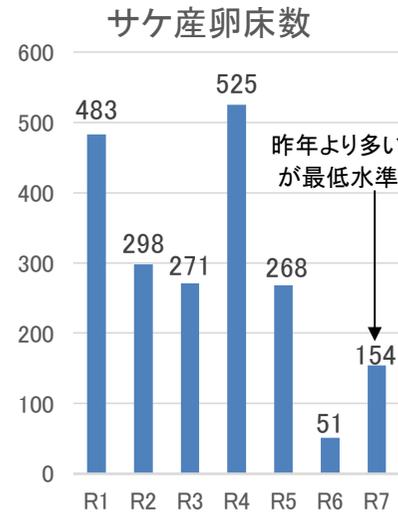
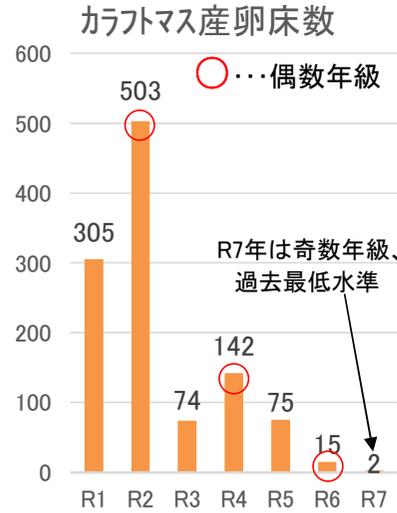


図1-2 区間別産卵床数 (令和7年度)

# 1. モニタリング調査

## 1-1 サケ・マス産卵床調査結果

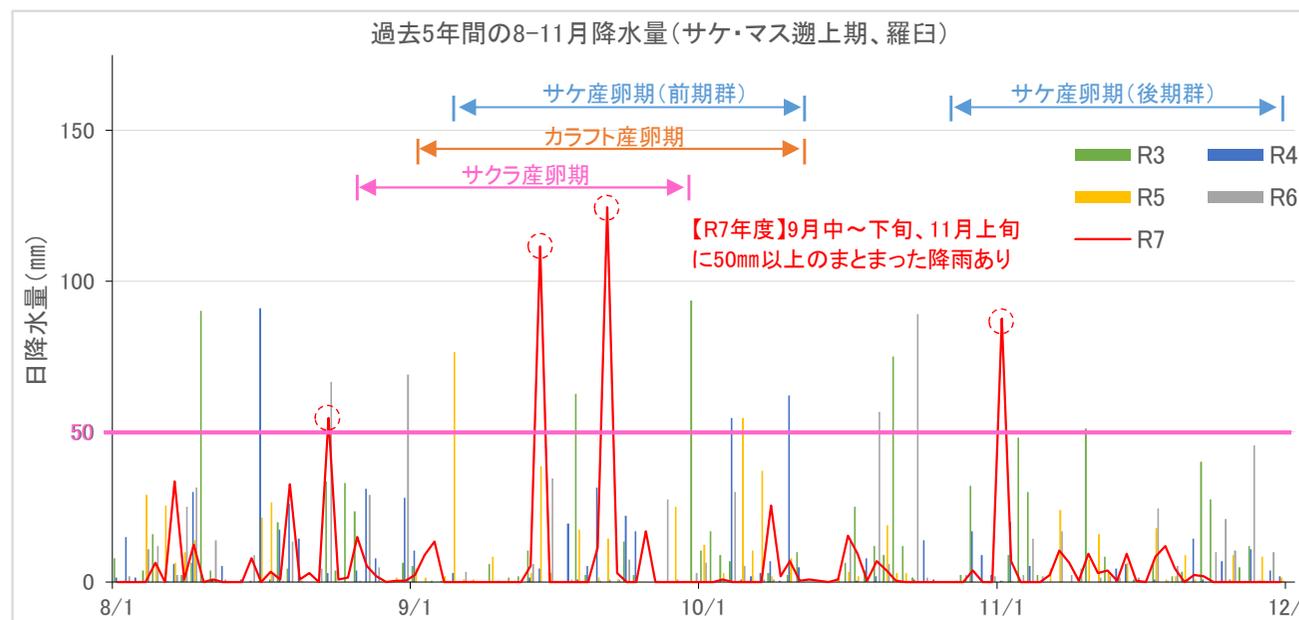
### 3) 産卵床の経年比較（5号床止を基準に比較）



## 1-1 サケ・マス産卵床調査結果

### 4) まとめ

- カワマス：産卵床は5号床止工の下流側でのみ確認された。  
産卵床数は年々減少傾向にあり、今年度は過去最低となる2床の確認にとどまる。
- サケ：産卵床の約4割は5号床止工の上流側で確認された。  
今年度は154床確認され、昨年度の3倍となったものの過去2番目に低い水準である。
- クワマス：産卵床の9割以上は5号床止の上流側で確認された。  
羅臼川本川のほか支川落沢川でも産卵床が多数確認されている。  
近年、産卵床数が増減を繰り返し、やや不安定となる。



※参考 過去5年間の8～11月降水量（R3～7年）  
サケ・カラフトマスは増水でウライが一時的に撤去された場合に遡上可能

# 1. モニタリング調査

## 1-2 5号床止工魚道部の水面落差低減対応について

R4（2022）年度に設置した袋型根固による魚道部の水面落差低減対応について、WEBカメラによる監視を実施



水面落差 0.7→0.3mに低減

### ◆監視状況（2025年遡上期前）



2022～2025年度の遡上機能改善に寄与

### ◆監視状況（2025年遡上期終盤）



2025年度11月の出水により袋型根固が流出

⇒水面落差が約70cmに拡大

⇒今冬に袋型根固を補修し、次年度以降も監視を継続

# 2. 5号床止工について

## 2-1 既設床止工の改修経緯

5号床止工と6号床止工の関連性を、竣工時から現在までの改修履歴に基づき整理する。

- ・昭和36～39年 災害関連事業等により、床止工が整備される。

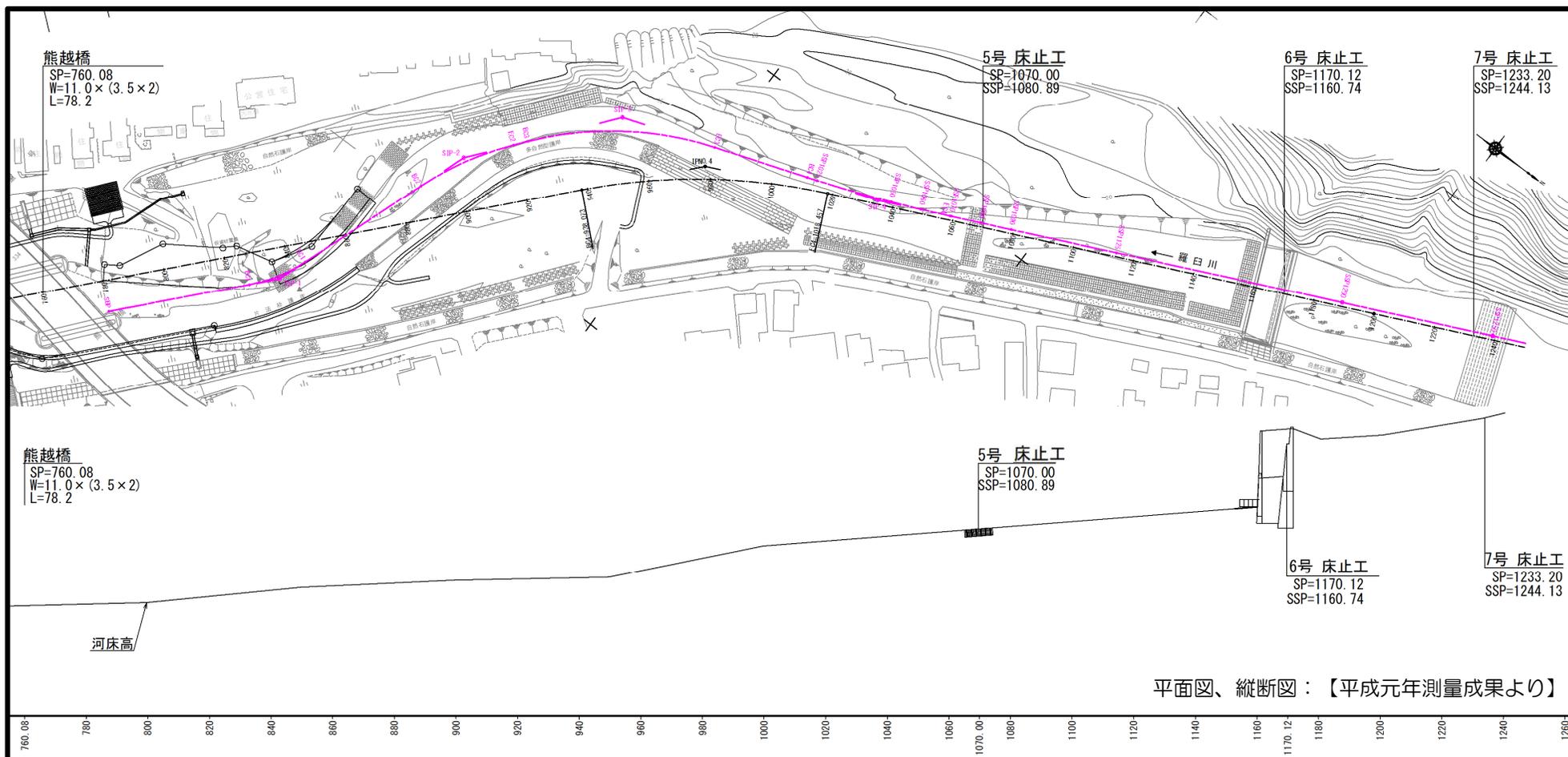


図2-2 改修経緯縦平面図 (1/4)

# 2. 5号床止工について

## 2-1 既設床止工の改修経緯

- 平成15年に5号床止工の魚道工が整備、平成16年に6号床止工の魚道工が整備される。

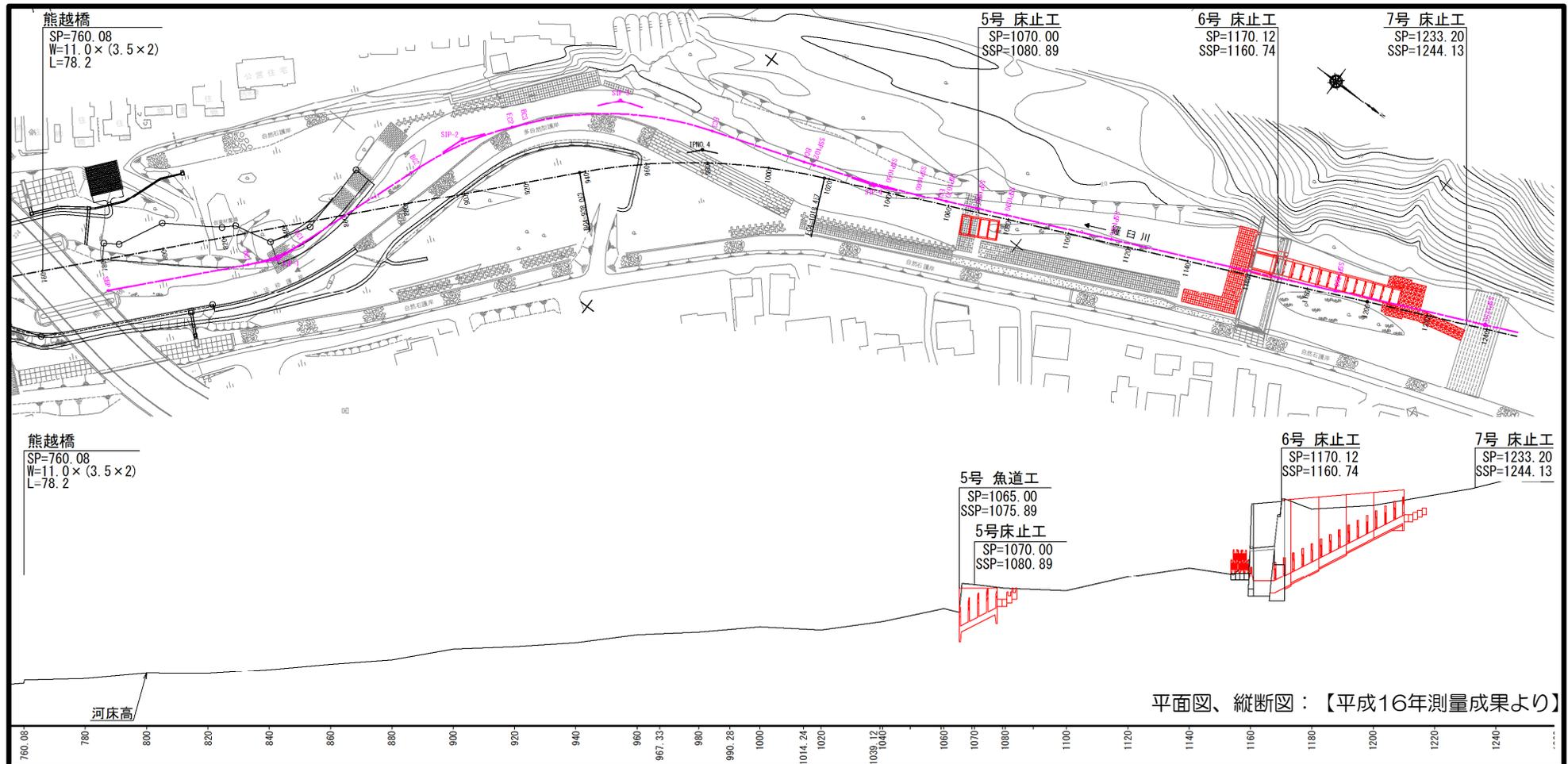


図2-3 改修経緯縦平面図 (2/4)

# 2. 5号床止工について

## 2-1 既設床止工の改修経緯

- 平成19年 河床低下により5号床止工魚道工を延伸および護床工追加整備する。

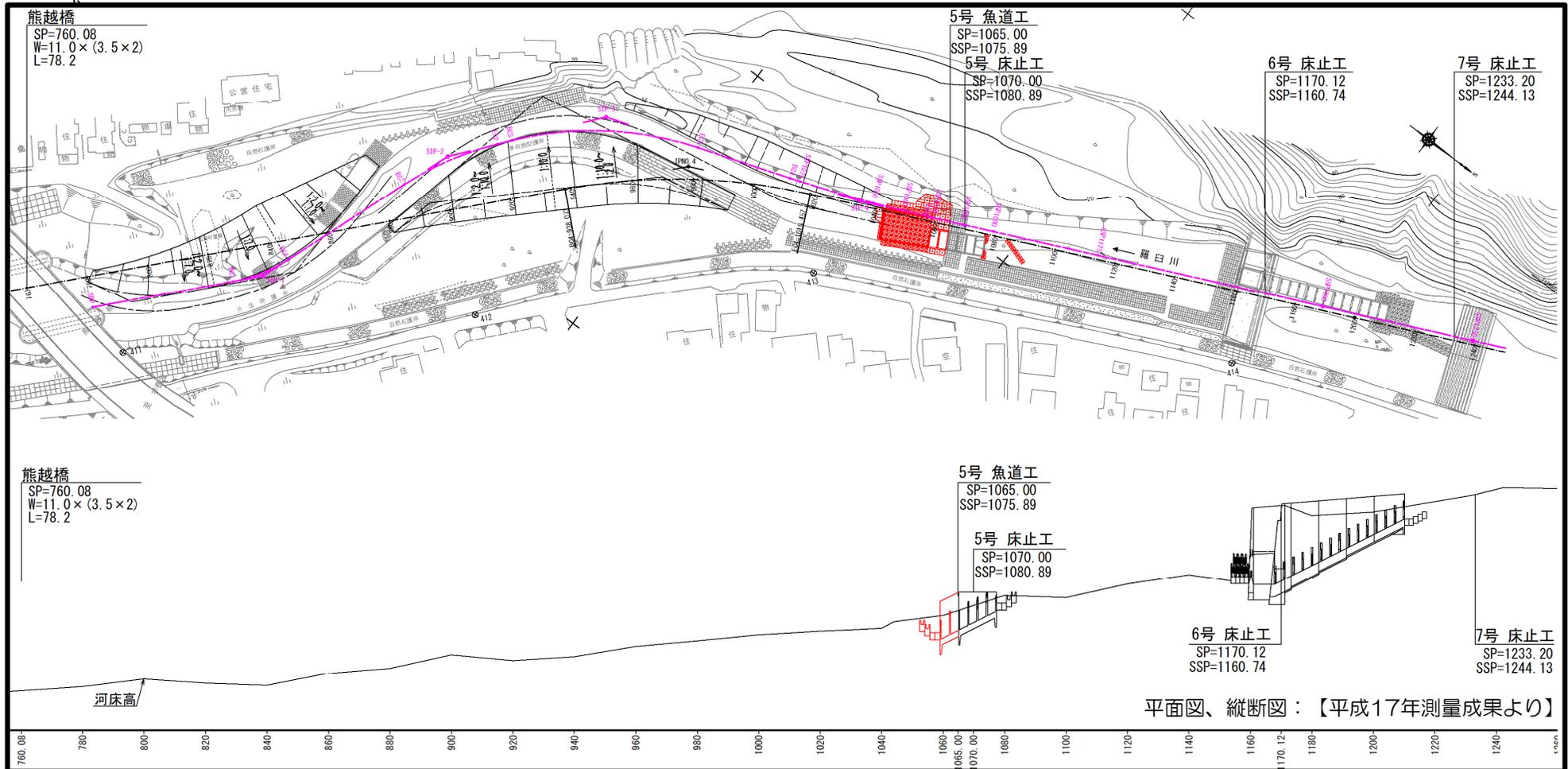


図2-4 改修経緯縦平面図 (3/4)

# 2. 5号床止工について

## 2-1 既設床止工の改修経緯

- 令和7年現行（平成28年～令和元年までに5号床止工下流に帯工（6基）を整備）

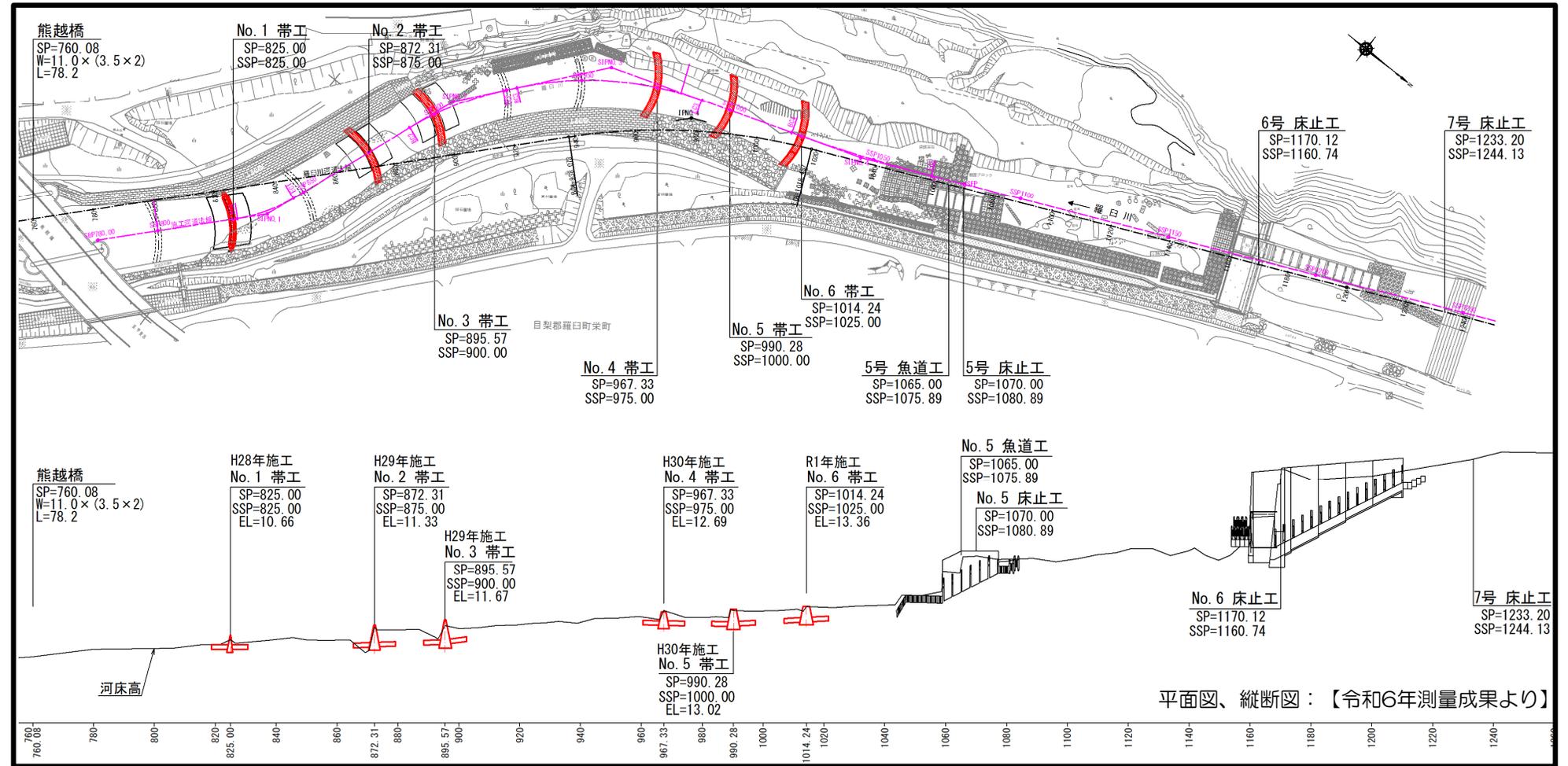


図2-5 改修経緯縦平面図 (4/4)

# 2. 5号床止工について

## 2-2 5号床止工の有無による6号床止工への影響

5号床止工が無い場合、6号床止工の下流側において河床低下が発生し、魚類の遡上障害となることが推測される。また、左岸側の護岸の維持が困難となる。背後には住宅が近接しているため、5号床止工撤去は上流への影響が大きいと考えられる。

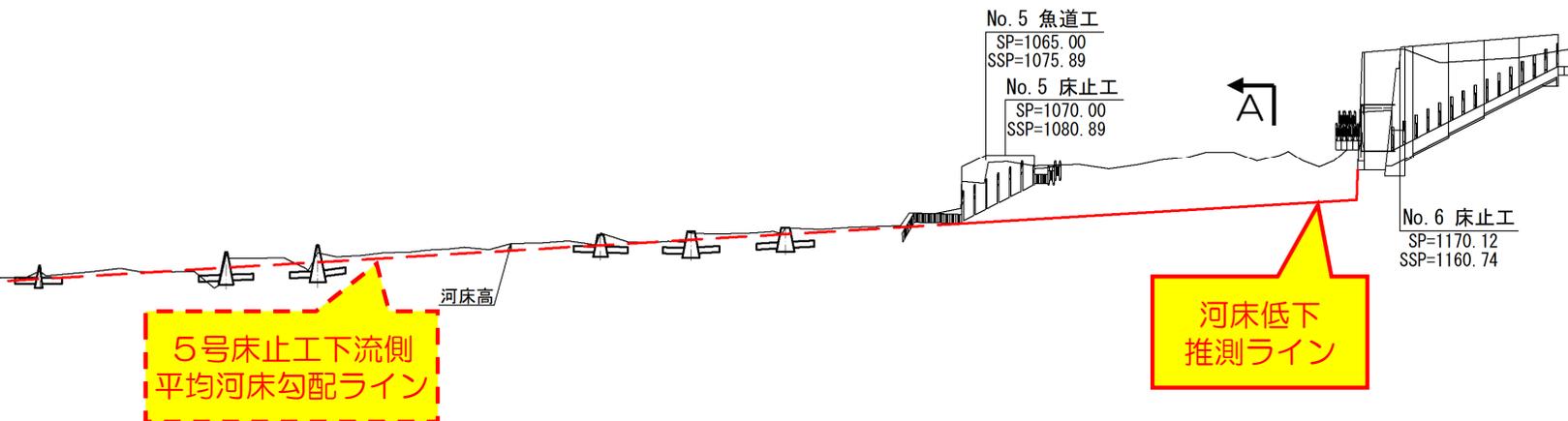


図2-6 縦断面図 (5号床止工が無い場合の洗掘想定)

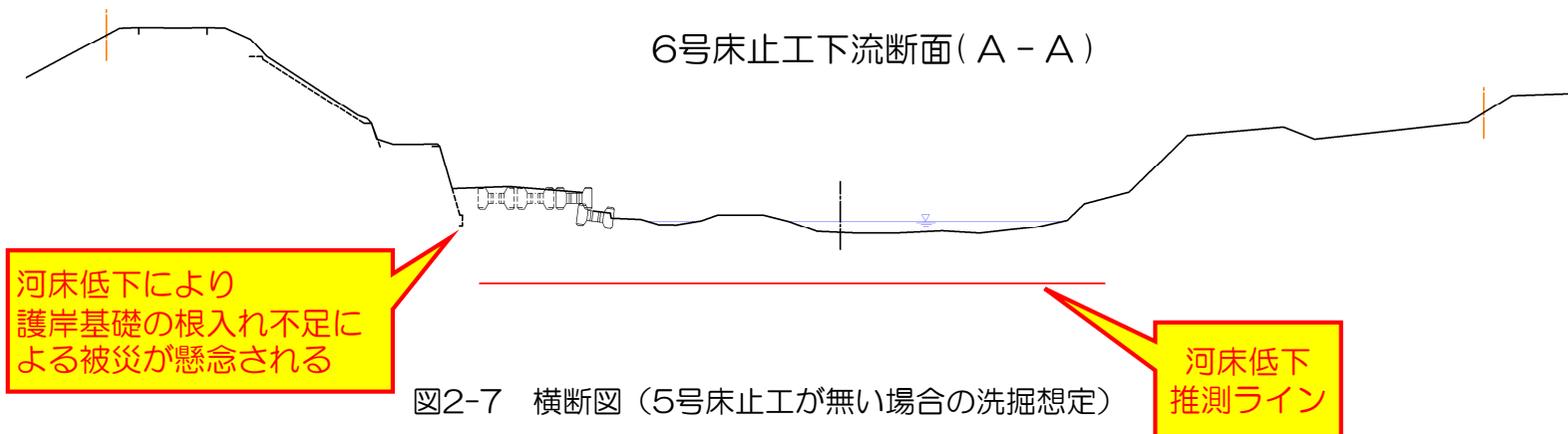


図2-7 横断面図 (5号床止工が無い場合の洗掘想定)



写真2-1 5号床止工周辺状況

## 2. 5号床止工について

### 2-3 5号床止工に関する今後の対応

5号床止工については、上流側への河床低下抑制に寄与していると考えられる。  
一方で、現行の5号床止工には、魚道部の水面落差やブロックの荒廃といった課題がある。  
(写真2-3 ①~②参照)。

今後も魚類の産卵床モニタリングを継続しつつ、5号床止工にどのような対応（対策）を講じるべきか、助言をいただきながら検討を進めたい。



写真2-3 5号床止工全景

# 3. 令和8年度の予定

## 令和8年度の予定作業

### 【モニタリング調査】

- ①サケ・マス産卵床調査（継続実施）
- ②5号床止工魚道部の袋根固監視
- ③5号床止工対策方針の検討